

ベトナムでのコロナ対策 -現場レポート-

ロータスクリニック ハノイ・ホーチミン
院長 白井拓史

ベトナムは東南アジアの国々の中では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のコントロールが最も上手くいっている国の1つとなっている。政府が早い段階から厳しい規制・対策を行ったことや社会主義国という政治体制や国民性、2003年のSARS（重症急性呼吸器症候群）の時の迅速な押さえ込みの経験が活かされたことなど、様々な要因があると考えられる。

ベトナムの新型コロナウイルス感染状況

ベトナムでは、4月16日以降、99日間に渡って市中感染ゼロの状態が続いていたが、7月25日にベトナム中部のダナンで第2波が発生した。感染者は、57才の男性であった。しかし、その後は、徹底的な隔離政策や水際対策などが功を奏して、2020年10月現在、再び感染状況は落ち着いてきている。

人々の日常生活は、ほぼ通常の状態に戻っている。朝夕のバイクや車の通勤ラッシュは以前と変わらず渋滞となっている。レストランやカフェなどの営業も通常通り行われている。ビアホイと呼ばれるベトナムの路上ビアホールには、夜になるとたくさんの人が集まりビールを楽しんでいる姿をみることが出来る。



<ハノイの朝のバイク通勤ラッシュ>

以前と変わらないハノイ市内の朝の渋滞。バイクに乗る時には元々マスクをする習慣がある。



<ハノイの路上ビアホール>

夜になると多くの人が友人や家族とビールを楽しんでいる。

国内移動に関しては、一時は制限されていたが、現在は問題なく移動可能である。飛行機の国内線もベトナム国内のどの都市間の路線も運行している。ノイバイ空港（ハノイ）やタンソンニャット空港（ホーチミン）は多くの人で混み合っている。

国内線で移動すること自体には制限はないが、飛行機に搭乗する時には、必ず健康状態についての医療申告をすることが義務づけられている。WEB サイトでも携帯アプリでも簡単に申告が出来るようになっており、発熱や咳嗽などの症状の有無や住所や電話番号などを搭乗前に登録するようになっており、登録を行うとQR コードが送られてきて、空港のチェックイン時などに提出を求められた場合には、このQR コードを提示する。



<タンソンニャット空港（ホーチミン）>

国内線の荷物検査場では、多くの人々が順番を待っている。

BAN CHỈ ĐẠO QUỐC GIA PHÒNG CHỐNG DỊCH BỆNH COVID-19
HỆ THỐNG QUẢN LÝ KHAI BÁO Y TẾ

Tờ khai y tế/Vietnam Health Declaration

Cho người nhập cảnh
Entry declaration

Khởi báo toàn dân
For domestic guests

Khả
For dom

Chọn ngôn ngữ để khai báo y tế / Select the language to declare health:

TỜ KHAI Y TẾ ĐỐI VỚI NGƯỜI NHẬP CẢNH

ĐÂY LÀ TÀI LIỆU QUAN TRỌNG, THÔNG TIN CỦA ANH/CHỊ SẼ GIÚP CƠ QUAN Y TẾ LIÊN LẠC KHÍ CÁN THIỆT ĐỂ PHÒNG CHỐNG DỊCH
Khuyến cáo: Khai báo thông tin sai là vi phạm pháp luật Việt Nam và có thể xử lý hình sự

Cửa khẩu (*)

Họ tên (ghi chữ IN HOA) (*)

<医療申告のサイト>

WEB サイトからも携帯アプリからも申請が可能となっている。

<https://tokhaiyte.vn/>

Tờ khai y tế/Vietnam Health Declaration

Cho người nhập cảnh Entry declaration	Khai báo toàn dân For domestic guests	Khai đi chuyển nội địa For domestic move declaration
--	--	---



Mã QRCode dùng để Check in, Check out
Mã tờ khai: TSKK-005829024

Tải App VHD trên  

<医療申告の携帯アプリ>

医療申告を行うとこのような QR コードが送られて来るので、空港で求められた場合に提示する。

人々の日常生活は通常の状態に戻りつつあるが、国外からの入国は制限された状態が続いているため、観光客の姿などは見られない。そのため、ハノイもホーチミンも市内の観光客が行くような名所や観光地は閑散としている。

観光業界やホテル業界などは、経済的に大きな打撃を受けている。政府としては新型コロナウイルス感染症対策と経済対策を同時にバランス良く進めることが求められている。しかし、4月からの厳しい政策が功を奏して市中感染ゼロの状態が続いたことで、政府が国内旅行などを国民に推奨した矢先にダナンで第2波が発生してしまったこともあり、難しい判断が続くことになると考えられる。



<ホーチミンのオペラハウス前>

いつもであれば、観光客の姿がたくさん見られるが、閑散としている。

迅速で厳しい政策により感染制御

ベトナム政府は、新型コロナウイルス感染発生初期から迅速に対応してきた。厳しい隔離政策と水際対策を打ち出すとともに、インターネットやSNSなどを駆使しての情報発信などにも積極的に取り組んでいる。

グエン・スアン・フック首相は、2月1日に新型コロナウイルス感染の流行を発表する首相決定を公布した。また、2月3日からは、教育機関の休校措置、大規模イベントの開催を控える方針が決まった。これは、ベトナムの学校だけではなく、日本人学校やインターナショナルスクールも対象となった。初期の段階で感染の広がりを押さえるための迅速な決定を行ったことがその後の感染コントロールに大きく寄与したと考えられる。

隔離政策も非常に厳格なものであった。国内感染者数がまだ16人だった2月13日の時点で国内感染者が多く出ている北部のVinhPhuc省にあるソンロイ村という村全体（人口1万600人）を封鎖した。村全体を隔離したのだ。



<ソンロイ村封鎖の様子（ビンフック省のお知らせより）>

http://www.vinhphuc.gov.vn/ct/cms/tintuc/Lists/NghienCuuTraoDoi/View_Detail.aspx?ItemID=1139

3月19日には、ホーチミンにおいて、新型コロナウイルス感染が発生したホーチミン市2区と7区にあるマンションで、マンション全体を封鎖し全住民に対して隔離措置を行った。このように感染者が発生した場合に、村全体を封鎖したり、マンションの全住民を隔離したりするなど大胆な隔離政策を打ち出していった。

それでもクラスターの発生を完全に抑えることは出来ず、3月20日にはハノイのバックマイ病院付属熱帯病センターで働く女性看護師2人から始まる集団感染が起こった。

また、ホーチミンでは、2区にあるバー「ブッダ・バー(Buddha Bar)」を訪れていたベトナム航空のパイロットの英国人男性を含む客やスタッフなど計8人が感染しホーチミン最大のクラスターとなった。

バックマイ病院での集団感染を報じたニュース

COVID-19 infection tally rises to 258, Bach Mai hospital lockdown lifted

<http://news.chinhphu.vn/Home/COVID19-infection-tally-rises-to-258-Bach-Mai-hospital-lockdown-lifted/20204/39661.vgp>

ブッダ・バーでの集団感染関連のニュース

Ho Chi Minh City tracking visitors to local bar after party-goer catches COVID-19

<https://tuoitrenews.vn/news/society/20200321/ho-chi-minh-city-tracking-visitors-to-local-bar-after-partygoer-catches-covid19/53604.html>

このような状況を受けて、3月21日に発表された首相府通報により、全ての外国人の入国を一時的に停止することが決定され、3月22日より実施された。こうして、海外との人々の往来が自由に出来ない状態になった。

4月1日には、首相指示による「全社会隔離」が始まった。バスやタクシーなどの公共交通機関は運行停止となり、国内線も殆どの路線で運休、国内移動が実質的に出来ない状態となった。不要不急の外出は全て制限された。レストランやカフェなども閉店となり（デリバリーは可）、医療機関や薬局、生活必需品や食料を販売するスーパー以外の殆どの業種で営業が停止となった。

外出時は常にマスク着用が義務づけられ、マスクをしていない場合は罰金が課せられた。様々な建物や施設に入る時には検温が行われ、マンションの中にはエレベーターに乗れる人数の制限を行ったり、エレベーター内での電話での通話を禁止したりする場所もあった。日本料理店が集まるハノイのリンラン通りやホーチミンのレタントン通りも人通りがなく閑散としていた。レストランのデリバリーは行われていたので、多くの在留邦人がデリバリーを利用していた。

この全社会隔離は、4月22日まで行われ、その後徐々に緩和されることになった。この厳しい隔離政策が功を奏した結果、4月16日以降、市中感染はゼロとなり、それはダナンで第2波が発生するまで99日間続くこととなった。



<タンソンニャット空港（ホーチミン）国内線到着ロビー>

空港の国内線到着ロビーには、通過時に体温チェックを行い、看護師が常駐している。

ベトナム政府は、インターネットや SNS などを駆使して、積極的に情報発信も行ってきた。国内や海外の感染者数や感染者発生場所についての情報は、保健省の WEB サイトで常に最新の情報を見ることが出来る。



ベトナム保健省のサイト

<https://ncov.moh.gov.vn/>

面白い取り組みとしては、全社会隔離中には電話をかけるとコールする前にまずは自動音声で感染拡大防止のための注意が流れてから通話ができるようになっていた。また、ベトナムのヒット曲「Ghen」の替え歌で、新型コロナウイルス感染症予防の「手洗いダンス」も米国のケーブルテレビ局の番組内で紹介されたことで世界的に話題となった。「嫉妬したコロナさん」という曲名で、労働環境衛生研究所の指導で制作された。ヒット曲にウイルス予防対策の歌詞を付け、子供たちにも分かりやすい楽しい曲になっている。



嫉妬したコロナさん

<https://www.youtube.com/watch?v=V9YirNgAzXI>

クリニックにおける対策

4月の全社会隔離の状況下でも医療機関や薬局などは開いており、我々のクリニックも休まずに診療を行った。全予約制として受診者とスタッフの双方の安全に配慮して診療を継続した。

ベトナムの医療機関は、ベトナム保健省の指導の下、様々な対策を行っている。ロータスクリニックも新型コロナウイルス対策として、クリニック入り口での検温や渡航歴の確認などを徹底している。また、診療は全て予約制とし、予約の時点で症状や発熱の有無はもちろんのこと、訪れた地域や場所、感染者との接触の可能性などについて確認をした上で受診して頂いている。



<ロータスクリニック・ホーチミンの入っているビルの入り口>
ビルの入り口で検温とともに渡航歴や症状について確認を行っている。



<ロータスクリニック・ハノイ入り口での検温>
クリニックの外で検温を行って、予約の有無や来院理由の確認を行っている。外来は全て予約制となっている。

クリニック内には専用の隔離部屋を準備し、マスクやゴーグル、防護服を準備し対応できるようにしています。必要な場合にはスタッフが直接接触せず、室内外で電話で対応もできるようにしている。



<ロータスクリニック・クリニックの隔離室内部>
室外と室内で対面せずに電話で対応することも可能になっている。

在留邦人の受診状況

ロータスクリニックは、2016年にベトナムで初めての日系クリニックとしてオープンして以来、多くの日本人の方々に受診して頂いている。現在はハノイ、ホーチミン両都市で診療を行っている。

全社会隔離中は、タクシーやバスなどの公共交通機関も停止していたため、受診する在留邦人の方々は少なかった。その間、通院が困難な状況の方のためにインターネットや電話を利用した遠隔診療にも可能な限り対応した。

全社会隔離後は、徐々に受診される方は増加し、様々な疾患に対応している。最近では、高血圧や糖尿病、高脂血症といった生活習慣病の方で、普段日本で処方して貰っている常用薬が日本に帰国出来ないためになくなってしまふ方の受診が増えている。また、毎年、日本帰国時に健康診断を行っている方からの問い合わせも非常に多くなっている。

6月以降、日本から入国する邦人も徐々に増えており、そのような方の受診も見受けられる。日本からベトナムに入国する際には、入国3～7日前に日本でPCR検査を受けて陰性証明書を準備し、入国後は保健省指定のホテルにて14日間の隔離処置を受ける必要がある。隔離中にもPCR検査が行われ、隔離終了後に隔離証明書が発行される。ロータスクリニックを受診して頂く時には隔離を受けた方には必ず隔離証明書をご持参して頂いている。

SỞ Y TẾ HÀ NỘI
TRUNG TÂM Y TẾ QUÂN Y TẾ HỒ

CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM
Độc lập - Tự do - Hạnh phúc

Tập Hồ, ngày 2 tháng 9 năm 2020

GIẤY XÁC NHẬN

Họ tên: _____ Giới tính: Nam
- Năm sinh: _____
- Số hộ chiếu: _____
- Quốc tịch: Nhật Bản
- Nơi ở tại Việt Nam: _____
Ba Đình, Hà Nội

- Ngày nhập cảnh: 19/8/2020
Đã thực hiện cách ly y tế theo đúng quy định tại điểm cách ly y tế tập trung tại khách sạn InterContinental Westlake Hanoi, số 5 phố Từ Hoa, phường Quảng An, quận Tây Hồ, Thành phố Hà Nội

Hình thức cách ly: Tập trung
Hiện trạng sức khỏe bình thường và xét nghiệm lần 2 âm tính với vi rút SARS-CoV-2

Đề nghị công dân thực hiện nghiêm túc nội dung sau:

1. Khai báo thông tin với y tế, chính quyền địa phương nơi cư trú về việc đã hết thời hạn cách ly tập trung.
2. Tự theo dõi sức khỏe tại nhà, đo thân nhiệt hàng ngày. Khi có dấu hiệu bất thường như: ho, sốt, khó thở... khai báo ngay với y tế hoặc chính quyền địa phương để có biện pháp xử lý kịp thời.

GIÁM ĐỐC
Trần Hồng Hà

< 隔離証明書の例 >

14日間の指定ホテルでの隔離中にPCR検査を行い、隔離終了後に隔離証明書が発行される。

日本人を含めた外国人のベトナムへの受入れ

現状、日本とベトナム間の往来は制限されている。今後、緩和されていく方向にあるが、現在は、事前手続きと入国後の隔離、出国前と入国後のPCR検査が必要になっている。ベトナムに入国するためには、事前にベトナムの保健局や疾病管制センター（HCDC）、労働局、人民委員会などに必要な書類を提出する必要がある。各役所で承認されたら、入国管理局の承認を得ることになる。

手続きに関しては、在ベトナム日本国大使館のホームページに情報が載っている。

在ベトナム日本国大使館
ベトナムへの入国を希望する皆さまへ

https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20200731nyuukoku.html

日本出国前のPCR検査については、鼻咽頭ぬぐい液を用いて、RT-PCR検査又はRT-LAMP法で行う。検査証明書は、英語又はベトナム語で記載されたものであること、また、記載内容は、渡航者氏名、年齢（生年月日）、性別、国籍、パスポート番号、日本で住所、ベトナムでの住所、医療機関名、検体接種日、検査日、検査法（「PCR」又は「LAMP」を選択）、検査結果、入国予定日、陰性証明書の発行日が必要となっている。

検査証明書の書式も在ベトナム日本国大使館のホームページ内からダウンロード出来る。

COVID-19に関する検査証明
Certificate of Testing for COVID-19

Date of issue: _____
交付年月日

氏名: _____ パスポート番号: _____
Name: _____ Passport No: _____
国籍: _____ 生年月日: _____ 性別: _____
Nationality: _____ Date of Birth: _____ Sex: _____

日本における住所: _____
Address in Japan: _____
訪問地: _____
Visiting country: _____
訪問地における滞在先(住所): _____
Where applicant intends to stay in the visiting country (address): _____
入国予定日: _____
Scheduled date of entry: _____

上記の者のCOVID-19に関する検査を行った結果、その結果は下記のとおりである。
よって、この証明を交付する。
This is to certify the following results which have been confirmed by testing for COVID-19 conducted with the sample taken from the above-mentioned person.

採取部位 Sample	検査法 Testing for COVID-19	結果 Result	検定年月日 Result Date	備考 Remarks
・鼻咽腔ぬぐい液 Nasopharyngeal Swab	・核酸増幅検査 (real time RT-PCR法) nucleic acid amplification test (real time RT-PCR)			
・唾液 Saliva	・核酸増幅検査 (LAMP法) nucleic acid amplification test (LAMP) ・抗原定量検査 antigen test (CLIA)			

医療機関名: _____
住所: _____
医療機関名: _____
Medical institution: _____
Address of the institution: _____
Signature by doctor: _____

An impression of a seal:

<COVID-19に関する検査証明>

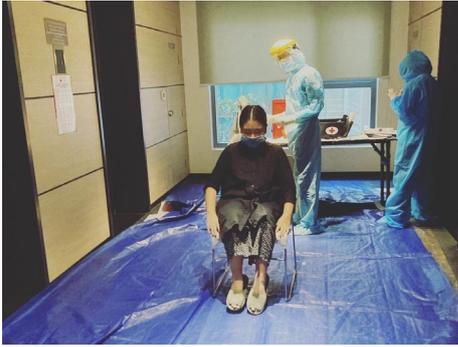
日本出国前に行うPCR検査の証明書用紙。在ベトナム日本国大使館のホームページ内からダウンロード可能。

実際に入国後に隔離されるのは、保健省指定のホテルとなる。現在、ハノイ、ホーチミン、ダナンそれぞれに複数の指定ホテルがあり、選択することが可能である。



<ホーチミンの指定隔離ホテルの部屋の1例>

ホテルは、ハノイもホーチミン、ダナンも複数の指定ホテルから選択可能。



<隔離中の PCR 検査>

隔離中に実施される PCR 検査の様子。隔離中に数回実施される。



<隔離中の食事の例>

食事はベトナム料理が中心になる。ホテルによっては洋食などの選択も可能。

今後は感染制御と経済活動のバランスの舵取りが問われている

現在ベトナムは、ダナンで発生した第2波も落ち着き、数週間に渡って市中感染ゼロの状態が続いている。ベトナムは、2003年のSARSの時に、世界で初めて制圧宣言を出した国であり、その教訓が活かされていると言える。また、社会主義国であり、政府の政策や規制が実施しやすいこと、またそれを遵守するベトナムの人々の気質、バイク社会であり元々バイクに乗車する時にはマスクをする習慣があることなども大きく影響しているものと思われる。

これまでのベトナム政府の政策は、水際対策と隔離政策を徹底することにより、国内の感染者をゼロとして、国外からの感染者の流入を阻止することに注力してきた。しかし、経済的なダメージも大きく、政府としても海外との人の行き来を再開して経済活動を活発にしたいと考えている。そのためには、今後は国外からの人々の受け入れをどのように行っていくのか、with コロナの政策をどのように行っていくのかなど、感染制御と経済活動のバランスの取れた舵取りが問われている。

※サイトへのリンクや照会、著作権法の規定での要約や引用は自由です。

但し、転載する場合は学会の許可を得てください。